

## 学習内容報告書

学校名	石巻市立荻浜中学校
授業者	校長，教頭を除く全教員

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

「私たちと海」～ワカメの養殖を軸として～

#### 1-2. 学年

全学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

昨年度は、地域の生業として「牡蠣養殖」を軸に単元を構成した。震災後、荻浜地域では、新たな収入源としての成長速度の速い「ワカメの養殖」に乗り出す漁業者も現れるようになった。

今年度は、「ワカメの養殖」を軸に単元を構成し、「耳削ぎ」「種付け」の体験活動を取り入れた。また、座学の分野として、「ワカメ養殖の一年間」「牡鹿半島の特徴」「浜の人々の生活と祭り」「海水の性質と食塩」「牡鹿半島の漁業」「貝毒，ノロウィルスについて」の6つの授業を実践し、海に関する総合的な知識の習得を目指した。また、海に親しむという観点から今年度も SUP（スタンドアップ・パドルサーフィン）の体験や、海について専門的に学ぶという観点から「宮城県水産技術総合センター」の訪問を行い、「ワカメの養殖」「温暖化に伴う業環境の変化」について講話をいただき、さらに生徒の側からの質問に答えてもらう取り組みも実施した。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、牡鹿半島の中央部に位置しており、4世帯中3世帯が牡蠣養殖業を営んでいる。海とは切っても切れない関係にあり、海について体系的に学ぶことは、将来の浜の住人としての礎を育むものである。

##### ねらい

- ①身近な存在である海についての理解を深め、海の恵みを享受し環境を守っていかうとする態度を養う。
- ②地域の海洋文化について具体的に理解し、それを受け継ぎ、広げていかうとする態度を養う。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・6時間の座学を通して、海について(about)知ることにより、地域の海についての理解を深め、海を守っていかうとする態度を身に付ける。
- ・「ワカメの養殖」の体験活動を通して、海を通して(through)学ぶことにより、地域の生業に対して理解を深める。

1-7. 単元の展開（全20時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	オリエンテーション 4/15月 「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の意義について 年間計画, 第1回実態調査	
2 3	「ワカメの耳削ぎ体験」 4/24 水	外部連携：阿部 真さん
4	「ワカメ養殖の一年間」 5/15 水 地域で行われているワカメ養殖の方法や工夫を 探求する。	外部講師：石森 裕治さん
5	「磯探検」 6/18 火 2校時 大潮：要長靴	荻浜中前の磯辺で
6 7	「SUP 体験」 8/9 金	外部連携：宮城 了大さん
8	「牡鹿半島の特徴」 8/27 火 リアス式海岸, 海の恵みと災害	
9	「浜の人々の暮らしと願い・祭り」 指導主事訪問 (8/30 金)	TT：男澤, 青山 教材動画：今野ちぐささん 阿部 清也さん 今野 優也君
10 11	「定置網網揚げ体験」 9/3 火	外部連携：今野 政也さん 阿部 清也さん
12	「海水の性質と食塩」 10/16 水 海水性質と塩分濃度の同定	於：理科室
13 14	「ワカメの種付け体験」 10/31 木	外部連携：後藤 章さん
15	「牡鹿半島の漁業について」 12/6 金	
16 17	「宮城県海洋技術総合センター」訪問 12/17 ワカメの養殖について 温暖化と漁業環境の変化について	講師：杉本 晃一さん 佐伯 光広さん
18	「貝毒, ノロウイルスについて」 1/24 金	
19	ポスターセッション発表 於：東京大学 2/15 リハーサル 2/12	
20	学習のまとめ 来年度への展望	

## 2. 学習活動の実際

### 「ワカメの耳削ぎ体験」

#### 2-1. 単元における位置づけ

単元 20 時間中の 2, 3 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

#### 2-2. 本時の目標

- ①ワカメの雄株と雌株を区別することができる。
- ②ワカメの雌株を葉状体から、手際よく分離することができる。

#### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>①雌株の分離方法について説明を聞く。</p> <p>②実際に作業を行う。</p> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今日は、先生方と生徒のみんな楽しく活動することができて良かったです。たくさんあったんですけど、みんなで協力して終わることができました。私のお家でも来年からやる予定なので、お手伝いしようと思います。(2年女)</li><li>・ワカメの耳削ぎはあまりやったことがなかったので、今回体験することができてとても嬉しかったです。最初は、ワカメがたくさんあってなくなるか不安でしたが、先生方と協力してワカメの山をなくすことができたので、良かったです。来年からは、自分もお母さんたちと一緒に耳削ぎをしたいと思います。(3年女)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒達とともに作業に加わる。</li></ul> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・耳削ぎの技能が身に付いたか。</li></ul> 

### 3. 学習活動の実際

「ワカメの種付け体験」

#### 3-1. 単元における位置づけ

単元 20 時間中の 13, 14 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

#### 3-2. 本時の目標

- ①ワカメの種を観察する。
- ②ワカメの種を、手際よくロープに括り付けることができる。

#### 3-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>①種の付け方について説明を聞く。</p> <p>②実際に作業を行う。</p> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ワカメの種付けはやったことがなかったので、今日は種付けやロープをひろげる作業ができてよかったです。種付けする種も、ほぼ全部同じ長さだったので、浜の人はすごいなと思います。ロープをひろげる作業は意外と力を使う作業だったので、びっくりしました。耳削ぎとかは家で手伝ったりできればいいなと思います。(2年女)</li><li>・ワカメの種付けは、はじめて体験したのですが、すごく単純な作業でしたが、すごく大事な作業なんだなと思いました。なわをひろげるのが大変でした。二の腕、筋肉痛になりそうですね(笑)。種がすごく小さくてびっくりしました。これが春には、すごい大きくなるって本当にすごいと思いました!!!</li><li>・すごい貴重な体験になりました。ありがとうございます!!(2年女)</li><li>・ワカメの種付け体験は、初めてでどのようにやるのかを分からないし、うまくできるか不安でしたがやってみると意外と簡単で2人で協力して種付けをすることができました。うちではワカメはやっていないので、今日はとても貴重な体験をすることができてとてもうれしかったです。(3年女)</li></ul>	<p>・生徒達とともに作業に加わる。</p> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・種付けの技能が身に付いたか。</li></ul>



#### 4. 今回の活動の自己評価

昨年度と今年度の海洋教育において、身近な海について知り、生徒なりに海に対する知見をもつことができた。また、体験活動では、「牡蠣養殖」や「ワカメの養殖」の作業の一部を経験することにより、家族や浜の人々が行っている地域の生業について、理解を深めることができた。

特に今年度は、6時間の座学の提供において、教員一丸となってこれに取り組み、専門外の分野であるにもかかわらずどの教員も教材研究に熱心に取り組んだ。今年度は、海洋教育を荻浜中学校の特色ある教育活動として確立することができた一年であった。

また、2月に行われたポスターセッションに2年生の生徒2名が参加し、本校の取組を全国に発信することができた。この2名は、昨年度から海洋教育を受けており、次年度は「探究活動」の核となる2名である。今回の経験は、次年度の活動の意欲となって表れるにちがいない。

海に囲まれた海洋国家としての日本は、大いなる恵みを海から受けるとともに、東日本大震災のように災いを受けてきた歴史もある。総合的な学習の時間を通して、海のことを系統的に学習できたことは、浜に暮らす生徒達にとって、将来的には「生きる力」となって還元されるものと考えている。

#### 5. 今後の課題

これまでの座学が、海について(about)知るであり、体験活動が、海を通して(through)学ぶだったのに対して、3年目の学習は、海のために(for)学ぶであると考えている。テーマを「私たちと海」～豊かな海との共生を目指して～と定め、現在海洋で進行している様々な問題(プラスチック海洋汚染や海水温の上昇など)に目を向けさせ、前半はグループでの研究、後半は個人による研究に基づいた、テーマに関する深い理解と中学生ならではの提言を考えさせたいと、目下次年度の研究計画を立案中である。

新学習指導要領が目指している、主体的・対話的・深い学びにいきなうためにも「海洋教育」は魅力的な題材と言える。新1、2年生には、これまでの活動をできる限り詳しく伝え、3年生とともに探究活動に邁進させたいと考えている。

#### 6. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。